

教育目標「自ら未来を拓き 心豊かに たくましく生きる子供の育成」



遷喬小だより

TEAM 遷喬・PRIDE 遷喬 ～なかよく 明るく つよく正しく～

学年担任制

本校では今年度より、学年全体を複数の教職員で支える「学年担任制」を進めています。この取り組みの大きなねらいは、子供たち一人一人に、より安定した安心感のある学校生活を提供することです。従来の一担任制では、担任が体調不良や子育て、研修等をやむを得ず不在となった場合、その学級だけが大きく影響を受けることが少なくありませんでした。子供たちにとっては、「今日は先生がいない」「いつもと違う雰囲気です不安」という気持ちが生まれることもありました。

学年担任制では、学年の子供たちを複数の教職員で日常的に関わりながら見守るため、誰かが休んだ場合でもひとつの学級だけが特別に影響を受けることがなくなりました。学年内の教職員が役割を分担しながらスムーズに授業や生活指導を引き継ぐことができるため、子供たちは落ち着いた雰囲気の中で、普段と変わらない学習・生活を送ることができています。

また、複数の視点で子供たちを見取ることができる点も大きなメリットです。日々の学習の様子や友達との関わりを、学年内の教職員全体で共有することで、一人一人のよさや課題にいち早く気づき、必要な支援につなげることができます。



6年生交流会

12月2日(火)、久世中学校の体育館において、久世中学校区に所属する5つの小学校の6年生が集まり、交流会を行いました。中学校進学を控えた子供たちにとって、お互いの顔を知り、共に活動することで安心して中学校生活をスタートさせる大切な機会です。当日は、真庭市スポーツ文化振興課と真庭スポーツ推進員の方にご協力いただき、ボッチャと室内モルックを体験しました。

ボッチャでは、狙いを定めてボールを投げたり転がしたりしながら、仲間と作戦を相談して競技を進めました。「今のすごい!」「惜しい!」と、自然に歓声や拍手があがり、どのグループも和やかな雰囲気を楽しむ姿が見られました。室内モルックでは、倒したピンを仲間と一緒に数えたり、投げ方を教え合ったりする様子が見られ、初めて会う友達ともすぐに

打ち解けることができました。

今回の交流会を通して、子供たちは活動の楽しさに加えて、地域の同じ学年の仲間とのつながりを実感することができたのではと思います。



1年生～学習の成果を披露～

12月2日(火)、1年生が久世こども園を訪れ、国語で取り組んだ音読をはじめ、音楽・体育などの学習の成果を披露しました。

音読では、はっきりとした声で、言葉のリズムや情景を大切にしながら読もうとする姿が見られました。園児のみんなも真剣に耳を傾け、読み終わると自然と温かい拍手が広がりました。

体育で身に付けたボール運び競争や、とびっこ遊びでできるようになった技を披露しました。ボールを落とさないように素早く運んだり、リズムよく跳び越えたりする姿に、こども園の子供たちからは「すごい!」「やってみたい!」といった声があがり、憧れの気持ちが高まっている様子が感じられました。1年生も、見てもらえる喜びや、できるようになったことを伝えられるうれしさを存分に味わっていたようです。

発表を終えた1年生からは、「緊張したけど楽しかった」「もう一回やりたい」といった声が聞かれ、学習の成果を自信につなげる良い機会となりました。

今回の交流が、こども園と小学校をつなぐ温かい架け橋となるとともに、1年生の大きな励みとなったことを期待しています。

